

「異所性石灰化症」という言葉をよく聞きますが、具体的に教えて下さい。

異所性石灰化とは、炭酸カルシウム、リン酸カルシウム、ハイドロキシアパタイトなどの結晶が組織に沈着する現象であり、高リン血症、高カルシウム血症がその最も重要な原因である。レントゲン写真で発見できるだけのものから腫瘍を形成するものまで様々な程度の異所性石灰化がある。異所性石灰化は身体の種々の部位に認められる。肩、肘、手、股関節、膝などの関節や関節周囲に発生する異所性石灰化により、ときに関節が急速に腫脹し、急性関節炎の症状を呈することがある(局所が赤く腫れて、熱く、痛みを伴うといった急性炎症反応)。また関節周囲に腫脹、疼痛、発赤などを呈し、あるいは腫瘍を形成するだけの場合もある。関節内の石灰沈着が、運動時痛や機能障害の原因となることもある。

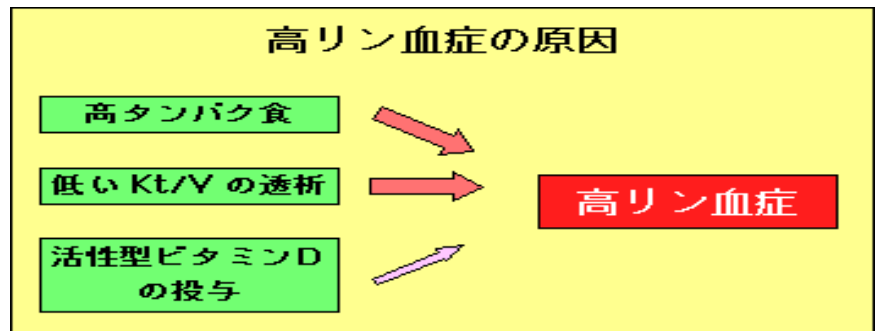
小動脈の石灰化は、臓器の循環不全の原因となることがある。冠状動脈壁の石灰化は、狭心症や心筋梗塞の原因となり心筋への石灰沈着は、いわゆる透析心の原因のひとつと考えられている。

異所性石灰化の治療

急性炎症の場合には、患部を冷やし熱を除きます。消炎鎮痛薬の内服と外用も有効です。

(1) 高リン血症の是正

リンコントロールの基本は、過剰な蛋白質摂取を慎むことが第一の方法であり、次に食品選択、薬物療法との兼ね合いを考慮することです。リンを



コントロールするためのステップを次に紹介しておきましょう。

●ステップ1<基本>

・蛋白質摂取量を適正に(1.0~1.2g/kg/day)

食べ過ぎに注意=蛋白質1gのリン含有量は12~16mg、さらに大雑把に蛋白質10gのリン含有量は130mg程度

・リン吸着剤の服用を忘れずに(食事中、ないし「塩酸セベラマー」は食直前に服用)

●ステップ2<基本の次に注意すること>

・乳製品(牛乳・ヨーグルト・チーズ等)を摂り過ぎない

・レバー、卵類(鶏卵・いくら等)を摂り過ぎない

《血清リン値の目安》

①5.0mg/dl以上……………注意(高P血症)

②2.5~5.0mg/dl未満…良好

③2.5mg/dl以下……………注意(低P血症)

(2) 高カルシウム血症の是正

(3) 二次性副甲状腺機能亢進症の治療

をおこなう。